

18日 土 叶内拓哉とバードウォッチング

野鳥写真家の叶内拓哉さんを講師に迎え、長居植物園内でバードウォッチングをします。

11月18日(土) 10:30~11:30 / 参加費：無料 / 定員：先着50名

叶内拓哉 野鳥の話 アレコレ

野鳥写真家の叶内拓哉さんを講師に迎え、野鳥撮影はもちろんのこと、豊富な経験・知識を基にした野鳥に関する話をお聞かせします。

11月18日(土) 12:30~14:00 / 参加費：無料 / 定員：先着30名

※上記は、講師：叶内拓哉氏(野鳥写真家) / 主催：興和光学株式会社

18日 土 谷口高司鳥絵工房「谷口高司のたまご式鳥絵塾」

野鳥図鑑で有名なイラストレーター、谷口高司氏による楽しい鳥の絵の描き方講習会です。

参加費：1,000円(画材代) / 定員：各回先着30名

主催：谷口高司鳥絵工房 / その他：画像の持込不可、写真撮影禁止、保護者の同席不可

19日 日

[小学3年生以上：ハシビロコウ]

・ 11月18日(土) 14:30~15:30

[大人~中学生向け：ヤイロチョウ]

・ 11月19日(土) 11:00~12:00

[小学3年生以上：エナガ]

・ 11月19日(日) 13:00~14:00

[小学3年生以上：ルリビタキ]

・ 11月19日(日) 14:30~15:30



©Takashi Taniguchi
©谷口高司と「新」たまご式「鳥絵塾」

オリジナル
野鳥缶バッジ
プレゼント!



19日 日 大阪湾にやってきたイルカと鯨

大都市大阪に面する大阪湾、そこにクジラ・イルカの仲間スナメリが居ることをご存知でしょうか?そして実はそれ以外にも、驚くほど多くのクジラやイルカの仲間たちが大阪湾を訪れているのです。今回は知られざる大阪湾とクジラ・イルカたちとの関わりを、鍋島先生の豊富な体験から、おもしろく聞かせていただきます。

11月19日(日) 14:00~15:30 / 参加費：無料 / 定員：先着30名

講師：鍋島 靖信(大阪市立自然史博物館友の会 会長)

主催：公益社団法人大阪自然環境保全協会 大阪湾スナメリ観察応援隊

はじめての鳥みたい(隊)!(探鳥会)

長居植物園内でバードウォッチングをします。野鳥を観察することが初めての方、まだまだ経験のない方も大歓迎です。

11月19日(日) 10:30~12:00、13:30~15:00

参加費：無料 / 定員：各回先着50名 / 主催：日本野鳥の会大阪支部

植物園の小さな秋を見つけよう

長居植物園の植物や昆虫を観察して、秋の気配を探してみましょ。友の会評議員がやさしく案内するので、小さなお子さんから大人まで参加できます。

11月19日(日) 11:00~12:00、14:00~15:00

参加費：無料 / 定員：各回先着30名 / 主催：大阪市立自然史博物館友の会

その他：長居植物園内で昆虫などの採集はできません。

講演・シンポジウム

参加費：無料 / 会場：自然史博物館本館 講堂

18日 土 ダニ・マックス 嫌われダニの愛し方 ~優雅なダニの奇妙な生態~

ダニはゴキブリと並んで滅びてほしい生物ナンバーワン。でも、地球上に生息する5万種を超えるダニのほとんどは、人間とは全く関わりのない自由気ままな生活を送っています。驚くほど多様で奇妙な姿をした森のダニ達が生きるためにとった戦略とは?人間に利益をもたらすダニとは?人間にとってのダニがもたらす良い面と悪い面など、誤解を解きながらダニの魅力を最大限にお伝えいたします。世界の最新ダニ研究もあわせて紹介します。

11月18日(土) 13:00~15:30 / 講師：島野 智之氏(法政大学)

主催：関西自然保護機構



19日 日

シンポジウム

Do you know 生物多様性?

~大阪市生物多様性戦略に向けて~

11月19日(日) 10:00~12:15 / 主催：大阪市環境局

協力：大阪市立自然史博物館、認定特定非営利活動法人大阪自然史センター

プログラム

- ・ 開催あいさつ
- ・ 基調講演 花田 真理子(大阪産業大学大学院人間環境学研究科教授)
- ・ 大阪市生物多様性戦略(中間報告)について 大阪市環境局環境施策課
- ・ パネルディスカッション(会場参加者との意見交換含む)
- コーディネーター
佐久間 大輔(大阪市立自然史博物館 学芸課長代理)
- パネリスト(予定)
花田 真理子(大阪産業大学大学院人間環境学研究科教授)
清野 未恵子(神戸大学大学院人間発達環境学研究科特命助教)
佐々木 正顕(積水ハウス㈱ 環境推進部長)
梅原 徹(認定特定非営利活動法人大阪自然史センター理事長)
堀井 久司(大阪市環境局環境施策部長)



講演会

ヤイロチョウ営巣発見80周年記念講演

ヤイロチョウは、熱帯地域から日本などに飛来して繁殖する渡り鳥ですが、80年前に四国の四万十川流域の森で最初に営巣が発見されるまでは、ごく稀に日本に飛来する迷鳥と考えられていました。妖精のように神秘的で *Pitta nympha* の学名が付けられたヤイロチョウは、絶滅危惧種・高知県の鳥・四万十町の鳥などに指定されています。生息地の森や、台湾、中国、マレーシア、タイ、韓国などにしか出て解明した謎の生態を美しい写真と共に紹介します。

11月19日(日) 13:30~15:30

講師：中村 滝男氏(公益社団法人生態系トラスト協会会長)、

中西 和夫氏(公益社団法人生態系トラスト協会理事・写真担当)

主催：公益社団法人生態系トラスト協会、日本野鳥の会大阪支部



両日とも開催

◆ブース展示

本館・ネイチャーホール・ポーチなどで、出展団体による活動紹介や標本などの展示、自然をテーマとした参加体験型の工作・ゲームコーナーなど。

◆ワークショップ

様々な自然観察・自然保護教育プログラムを実施します。受付は当日会場で行います。

◆世界の双眼鏡・望遠鏡が勢揃い

コーワ、ニコン、ケンコー、ツァイスなど、各社の双眼鏡・望遠鏡が勢揃いします。

場所：自然史博物館 玄関前ポーチ

出展団体

芥川倶楽部・あくびあび芥川、Atelier Φ、育英高等学校科学部、池田・人と自然の会、伊丹市昆虫館、伊丹市昆虫館友の会、茨木・高槻自然に親しむ会、大阪教育大学地学研究会、大阪自然環境局・東住吉区役所、公益社団法人 大阪自然環境保全協会、認定特定非営利活動法人 大阪自然史センター、大阪市立自然史博物館友の会、大阪生物多様性ネットワーク、大阪生物多様性及び啓発キャンペーン・大阪府 / 協力(株) 海洋堂、大阪石友会、大阪鶴橋鮮魚卸協同組合、大阪府、大阪変形圏おかけ隊、大阪みどりのトラスト協会、乙田休耕田クラブ、カールツァイス株式会社、カエル工房、徳原市昆虫館友の会、旅する移動オーガニックカフェ Cafe Pitwu、河内長野野鳥の会、関西自然保護機構(KONC)、関西(バードカービングクラブ、関西野生生物画クラブ(協称 KanNAC)、きしわだ自然資料館、きしわだ自然友の会、きこの好きのためのキノコサロン、岐阜県立森林文化アカデミー、協栄産業株式会社、NPO法人 共生の森、京都・冠島調査研究会、恐竜愛好会 ジェラシックバー君、近畿地学会、近大ホネネ団と(株)アークアタイムツ、クジラの雑貨屋さん、くまぼた造形雑貨店、包み屋(くるみや)、株式会社コンゴウトキナー、NPO法人コウトリ市民研究所、神戸芸術工科大学ホネ・プロジェクト、興和光学株式会社、こぼみつ亭、昆虫プロジェクトの entomo、Scientific Idea、さえずり本舗、堺自然観察会、堺自然ふれあいの森、サシバプロジェクト in 大阪、里山の山野草を守る会、佐野野舎、自然環境研究所、特定非営利活動法人 シニア自然大学校 研究部野鳥科、NPO法人 信太の森 FANクラブ、ジュンボランセンター、ジュニア自然クラブ、特定非営利活動法人 すいた市民環境会議、園庭、STUDIO SAIZU、STUDIO D'ARTE CORVO&株式会社キウイラボ、須磨海浜水族園ボランティア、成安造形大学 小田研究室、公益社団法人生態系トラスト協会、全国カヤズミ・ネットワーク、東北野鳥の会、たかを齋、谷口高司鳥絵工房、丹波市役所 恐竜 観光振興課、TEAM魚っしょい、地学団体研究会大阪支部、御菓子司 津村屋、NPO法人東洋編織研究所、栃木屋工房、長野高校科学同好会、なにわほねほね団、奈良教育大学自然環境教育センター、株式会社ニコンイメージングジャパン、錦織公園フォレストクラブ、西日本自然史系博物館ネットワーク、西宮貝類館、西淀自然文化協会、NPO法人 日本チョウ類保全協会、特定非営利活動法人日本バードレスキュー協会、日本バードカービング協会、公益財団法人日本野鳥の会、日本野鳥の会 大阪支部、日本野鳥の会 京都支部、日本野鳥の会 滋賀、履正社川市自然を学ぶ会、のくちてつや、浜寺公園自然の会、株式会社 阪神交通、PIZZA ROTOLO ヒッツァロト、兵庫県立淡路景観観察学校(兵庫県立大学淡路緑線景観キャンパス)、piyo-piyo brand、BOOKS、株式会社文一総合出版、ヘルボン株式会社、骨好き中学校教師の会、本山寺自然環境保全地域を考える協議会、マンボウなんでも博物館、水辺に親しむ会、南大阪昆虫同好会、八尾自然の会、野鳥生活、羊毛フェルトあどーちゃん、淀川管内河川川ジャマー、淀川水系イセナリ(ラ)保全市民ネットワーク、理科はんこ屋さん、リコイメーキング株式会社、株式会社レイマー、和風工房(わぜんこうぼう) (50音順)